	<u>シラバス</u>									
科目名	名	DTMベーシック	I	担	当	者名	山田 泰士			
学和	+	ミュージック科 ヴ ガーソングライタ・		ž	受業ス	方法	実習			
認定單開講等		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	72時間		
授業目	目的	DTMの基本操作	乍とテクニックを学.	కు.						
授業 F (ラーニ アウトカ	ング	制作の上でDTM	Mの使い方や音楽	理論を習	·得し	、同時に音響	楽的感性も向上する	<b>5</b> .		
授業棚	既要	DTMを使った楽 実践。	・曲、効果音の制作	乍とそれに	二伴う	音楽理論や	楽器知識、レコーラ	ディング知識の学習と		
			授業内容				授業内容			
	1	オリエンテーション			19	楽器知識				
	2	オリエンテーション			20	自主楽曲制作	1)			
	3 オリエンテーション			21	自主楽曲制作	2				
	4	Studio Oneのインスト	ールと基本的な使い方		22	自主楽曲制作	3			
	5	ベーシックな打ち込み	ょ(ドラム)		23	自主楽曲制作(	<b>4</b>			
	6	ベーシックな打ち込み	ょ(ベース)		24	ミックス作業とフ	プラグイン			
	7	ベーシックな打ち込み	ょ(ギター)		25	レコーディング	機材と実習			
授	8	ベーシックな打ち込み	ょ(ピアノ)		26	効果音の作成の	1)			
業計	9	ベーシックな打ち込み	*(メロディ)		27	効果音の作成の	2			
画表	10	さまざまな楽器の打ち	込み		28	I.完全自主制作	<b>=</b> (1)			
	11	打ち込みでの楽曲カ	バー①		29	I.完全自主制作	=2			
	12	打ち込みでの楽曲カ	バー②		30	II.完全自主制化	乍①			
	13	音楽理論・楽典①			31	II.完全自主制化	乍②			
	14	音楽理論·楽典②			32	楽曲発表とプレ	ゼン①			
	15	音楽理論・楽典③			33	楽曲発表とプレ	ゼン②			
	16	音楽理論・楽典④			34	まとめ1				
	17	音楽理論·楽典⑤			35	まとめ2				
	18	Cubaseの使い方と特	徴		36	まとめ3				
		テスト		50%	学	習FB方法	成績表送付			
成績害	訓合	学習態度•出席	率	50%	于	日口刀伍	////原仪 心门			
沙人小只日	.1 [	レポート			E	<b></b>		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点		
		合計		100%			以下は不合格			
P/R/A/C 講師ご フィー	プロ	14歳からギターを好理論などを学びつ 現在は、レコーディ	おめ、その後専門学校 つ、様々な場所で演奏	に入学し シ をやアシスタ セッション、	ジャズ、 ワントの	ブルース、ララ経験をしながら	っ同学校を卒業。	外体感型学習≫10% 音楽の知識や技術、音楽 ーとして楽曲提供など、メ		

	シラバス							
科目	 名	ミュージックセオリー I	担当者名 木下龍平					
学 科	+	ミュージック科 ヴォーカル&シン ガーソングライターコース	į.	受業ス	方法	講義		
認定単		4単位 開講期	37 NEE			授業時間数	72時間	
開講学	产牛	1学年 必・選	必選					
授業目	目的	音楽制作・楽器演奏に必要な音楽	楽理論を	習得 7	ける。			
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	世界で広く学ばれているジャズとを与えているかを知ることによって					・曲にどのような影響	
授業概	既要	クラシック・ジャズの理論の講義を ている例も解説する。	、楽器等	で音	を確認しなか	ぶら行う。併せて、実	<b>『</b> 際に楽曲で使用され	
		授業内容				授業内容	3	
	1	オリエンテーション1		19	前期テスト解説			
	2	オリエンテーション2		20	メジャーペンタ	トニックスケールとマイナ・	ーペンタトニックスケール	
	3	オリエンテーション3		21	ブルースとブル	ースペンタトニックスケー	ルル	
	4	ポピュラー音楽で使われる音楽理論につい 階名	て~音名と	22	テンションノート	とテンションコード		
	5	音階と中心音~メジャースケール		23	アヴェイラブル	ノートスケールという考え	方	
	6	調と調性		24	チャーチモード	`①		
	7	音程と度数		25	チャーチモード	·②		
授	8	小テスト		26	ドミナントスケー	- /レ		
業計	9	コード①:コードネームの法則~3和音		27	小テスト			
画 表	10	コード②:4和音		28	楽曲分析①			
	11	コード③:分数コード~小テスト		29	楽曲分析②			
	12	メジャーキーのダイアトニックコード		30	ハモリの付け方			
	13	コードのファンクション~ドミナント7thコード		31	小テスト			
	14	3種類のマイナースケールとマイナーキー		32	後期期末テスト			
	15	マイナーキーのダイアトニックコード〜サブドナー	ミナントマイ	33	後期テスト解説	~総括		
	16	ツーファイブとドミナントモーション~セカンタ ト	<sup>*</sup> リードミナン	34	確認テスト・まと	め1		
	17	小テスト		35	確認テスト・まと	<u></u> か2		
	18	前期期末テスト		36	確認テスト・まと			
		テスト	50%	学	習FB方法	成績表送付		
成績害	削合	学習態度•出席率	40%	,				
, , , , ,		レポート	10%	J.	<b>戈績評価</b>		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点	
		合計	100%			以下は不合格		
P/R/A/O	G割合	P《課題解決型学習》40% R《実働実践	型学習≫30	% A	A《主体的参加	型学習≫20% G≪海织	外体感型学習≫10%	
講師フィー		木下龍平 アーティストのライブサポートやレコーデ SUPA LOVE所属作家。	ィングに参加	叩する	等、ベーシスト	として活動した後、作詞	司・作曲・編曲家に転向。	

				シラ	ノヾ	ス		
科目	名	アンサンブルセオリ	— I	担	上当	者名	木下 龍平、山田 泰士	七、山田 達也、吉池 千秋
学 彩	+	ミュージック科 ヴォー ガーソングライターコ		ž	受業に	方法	実習	
認定単開講学		4単位 1学年	開講期 必・選	必選			授業時間数	144時間
授業目		譜面を正しく理解し						
			<ul><li>(関条できる)</li></ul>	· / (C ) · Oc	)			
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	記譜法(音符、休符サンブルの中で自分	、演奏記号等 分のパートが果	の譜面の Pたすべき	読み(役割	方・書き方に  を考えなが	工関するルール)を う演奏する感覚を	習得する。また、アン 養う。
授業概	既要	譜面を見ながら演奏 形式で行う。	きさせた後、演	奏技術や	バン	ドアンサンフ	、ルの考え方に関す	けるアドバイスを実技
		授	業内容				授業内容	3
	1	オリエンテーション1			19	音作り研究		
	2	オリエンテーション2			20	バラード8ビート	:①初見演奏•楽曲解説	i
	3	オリエンテーション3			21	バラード8ビート	、:②指導	
	4	譜面のルール:進行やリビ	゜ート記号について		22	バラード8ビート	·:③発表·講評	
	5	音符の種類と拍子			23	ソウル・ファンク	1:①初見演奏・楽曲解詞	Я́
	6	シンコペーション			24	ソウル・ファンク	1:②指導	
	7	ポップス8ビート:①初見演	夏奏・楽曲解説		25	ソウル・ファンク	1:③発表•講評	
授	8	ポップス8ビート:②指導			26	ポリリズム、変拍	i子	
業計工	9	ポップス8ビート: ③発表・	講評		27	ジャズ・フューシ	<sup>ジョン1:①楽曲解説</sup>	
画表	10	ロック1:①初見演奏・楽曲	1解説		28	ジャズ・フューシ	ション1:②指導	
	11	ロック1:②指導			29	ジャズ・フューシ	<sup>ジョン1</sup> :③発表・講評	
	12	ロック1:③発表・講評			30	バラード16ビー	ト1:①初見演奏・楽曲解	<b></b> 詳説
	13	シャッフルビート			31	バラード16ビー	ト1:②指導	
	14	即興演奏1			32	バラード16ビー	ト1:③発表・講評	
	15	ブルース:①初見演奏・楽	曲解説		33	後期期末実技	試験~総括	
	16	ブルース:②指導			34	確認テスト・まと	め1	
	17	ブルース: ③発表・講評			35	確認テスト・まと	め2	
	18	前期期末実技試験			36	確認テスト・まと	め3	
		テスト		50%	学	習FB方法	成績表送付	
成績害	訓合	学習態度·出席率		50%	7.	HID/J/L	/必順 公 心 门	
沙人小貝目	11 [	レポート		0%	F	<b></b>		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点
		合計		100%	)-	2427 F T 1µ4	以下は不合格	
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習≫40°	% R≪実働実践	型学習≫30	% A	A≪主体的参加	型学習≫20% G≪海织	外体感型学習≫10%
講師プ		アーティストのライブサス SUPA LOVE所属作家。		ィングに参加	叩する	等、ベーシスト	として活動した後、作言	司・作曲・編曲家に転向。

				シラ	バ	ス		
科目名	名 アンサンブルセオリー I		担	出当	者名		木下 龍平、山田 泰士、 山田 達也、吉池 千秋	
学 科	ŀ	ミュージック科プレ	イヤーコース	1	受業ス	方法	実習	
認定単		4単位	開講期				授業時間数	144時間
開講学	华	1学年	必・選	必選				
授業目	目的	譜面を正しく理解	解し、演奏できる』	<b>こうにする</b> 。	)			
授業目 (ラーニ アウトカ.	ング	記譜法(音符、体サンブルの中で	、符、演奏記号等 自分のパートが昇	の譜面の Pたすべき	:読み :役割	方・書き方に  を考えなが	ニ関するルール)を ら演奏する感覚を	習得する。また、アン 養う。
授業棚	既要	譜面を見ながら液形式で行う。	演奏させた後、演	奏技術や	バン	ドアンサンフ	「ルの考え方に関す	けるアドバイスを実技
			授業内容				授業内容	₹
	1	オリエンテーション1			19	音作り研究		
	2	オリエンテーション2			20	バラード8ビー	、:①初見演奏・楽曲解説	Ĺ
	3	オリエンテーション3			21	バラード8ビー	·:②指導	
	4	譜面のルール:進行や	リピート記号について		22	バラード8ビー1	·:③発表·講評	
	5	音符の種類と拍子			23	ソウル・ファンク	1:①初見演奏・楽曲解記	Я́
	6	シンコペーション			24	ソウル・ファンク	1:②指導	
	7	ポップス8ビート:①初	見演奏・楽曲解説		25	ソウル・ファンク	1:③発表·講評	
授	8	ポップス8ビート:②指	诗		26	ポリリズム、変拍	<b></b>	
業計工	9	ポップス8ビート: ③発	表•講評		27	ジャズ・フューシ	ジョン1:①楽曲解説	
画表	10	ロック1:①初見演奏・	<b>楽曲解説</b>		28	ジャズ・フューシ	<sup>ジョン</sup> 1:②指導	
	11	ロック1:②指導			29	ジャズ・フューシ	<sup>ジョン</sup> 1:③発表・講評	
	12	ロック1:③発表・講評			30	バラード16ビー	ト1:①初見演奏・楽曲解	<b></b> 詳説
	13	シャッフルビート			31	バラード16ビー	ト1:②指導	
	14	即興演奏1			32	バラード16ビー	ト1:③発表・講評	
	15	ブルース:①初見演奏	•楽曲解説		33	後期期末実技	試験~総括	
	16	ブルース:②指導			34	確認テスト・まと	め1	
	17	ブルース:③発表・講語	平		35	確認テスト・まと	· め2	
	18	前期期末実技試験			36	確認テスト・まと	·. භ3	
		テスト		50%	学	習FB方法	成績表送付	
成績害		学習態度・出席	率	50%	子	日TD万伝		
从順音	11 [	レポート		0%	E	<b>戈績評価</b>		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点
		合計		100%	,,	人//貝叶/  川	以下は不合格	
P/R/A/0	3割合	P≪課題解決型学習≫	>40% R≪実働実践	建学習≫30	% A	A《主体的参加	型学習≫20% G≪海%	外体感型学習≫10%
講師コフィー		アーティストのライブ SUPA LOVE所属作		ィングに参加	叩する	等、ベーシスト	として活動した後、作詞	司・作曲・編曲家に転向。

	シラバス								
科目名	名	DTMベーシック	I	担	当	者名	山田 泰士		
学 科	ŀ	ミュージック科プレ	ノイヤーコース	ž	受業ス	方法	実習		
認定單開講学	·	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	72時間	
授業目	目的	DTMの基本操作	乍とテクニックを学	<i>\$</i> .					
授業 E (ラーニ アウトカ	ング	制作の上でDTM	Mの使い方や音楽	経理論を習	得し	、同時に音楽	終的感性も向上する	5.	
授業概	既要	DTMを使った楽 実践。	経曲、効果音の制作	乍とそれに	こ伴う	音楽理論や	楽器知識、レコーラ	ディング知識の学習と	
			授業内容			授業内容			
	1	オリエンテーション			19	楽器知識			
	2	オリエンテーション			20	自主楽曲制作(	D		
	3	オリエンテーション			21	自主楽曲制作	2		
	4	Studio Oneのインスト	ールと基本的な使い方		22	自主楽曲制作(	3		
	5	ベーシックな打ち込み	ょ(ドラム)		23	自主楽曲制作(	4		
	6	ベーシックな打ち込み	ょ(ベース)		24	ミックス作業とフ	<sup>e</sup> ラグイン		
	7	ベーシックな打ち込み	ょ(ギター)		25	レコーディング	幾材と実習		
授	8	ベーシックな打ち込み	ょ(ピアノ)		26	効果音の作成の	D		
業計	9	ベーシックな打ち込み	ょ(メロディ)		27	効果音の作成の	2		
画表	10	さまざまな楽器の打ち	が込み		28	I.完全自主制作	=(1)		
	11	打ち込みでの楽曲カ	バー(1)		29	I.完全自主制作	=2		
	12	打ち込みでの楽曲カ	バー②		30	II.完全自主制作	<b>F</b> (1)		
	13	音楽理論・楽典①			31	II.完全自主制作	<b>F</b> 2		
	14	音楽理論・楽典②			32	楽曲発表とプレ	ゼン①		
	15	音楽理論・楽典③			33	楽曲発表とプレ	ゼン②		
	16	音楽理論・楽典④			34	まとめ1			
	17	音楽理論・楽典⑤			35	まとめ2			
	18	Cubaseの使い方と特	徵		36	まとめ3			
		テスト		50%	عدد	NA CO⊐KE	- 上体 ≠ ∵ ↓ ↓		
<b>北</b> 建生		学習態度・出席	率	50%	字	習FB方法	成績表送付		
成績害	.1.□.	レポート			万	<b>戈績評価</b>		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点	
		合計		100%			以下は不合格		
P/R/A/C 講師フ フィー	プロ	14歳からギターを始 理論などを学びつ 現在は、レコーディ	らめ、その後専門学校 つ、様々な場所で演奏	でに入学し シ 奏やアシスタ 、セッション、	ジャズ、 マントの	ブルース、ララ経験をしながら	る同学校を卒業。	外体感型学習≫10% 音楽の知識や技術、音楽 ーとして楽曲提供など、メ	

	シラバス						
科目名	名	ミュージックセオリー I	担	. 当 =	者名	木下 龍平	
学 科	4	ミュージック科プレイヤーコース	技	受業ス	方法	講義	
認定單開講等		4単位     開講期       1学年     必・選	必選			授業時間数	72時間
州明	-+-	1子十	必迭				
授業目	目的	音楽制作・楽器演奏に必要な	<b>に音楽理論を</b>	習得 3	ける。		
授業目 (ラーニ アウトカ.	ング	世界で広く学ばれているジャ を与えているかを知ることによ					・曲にどのような影響
授業概	既要	クラシック・ジャズの理論の講 ている例も解説する。	義を、楽器等	で音る	を確認しなか	ぶら行う。併せて、実	医際に楽曲で使用され
		授業内容				授業内容	3
	1	オリエンテーション1		19	前期テスト解説	ļ	
	2	オリエンテーション2		20	メジャーペンタ	トニックスケールとマイナ・	ーペンタトニックスケール
	3	オリエンテーション3		21	ブルースとブル	ースペンタトニックスケー	-ル
	4	ポピュラー音楽で使われる音楽理論に 階名	ついて~音名と	22	テンションノート	とテンションコード	
	5	音階と中心音~メジャースケール		23	アヴェイラブル	ノートスケールという考え	方
	6	調と調性	23     アヴェイラブルノートスケールという考え方       24     チャーチモード①       25     チャーチモード②				
	7	音程と度数		25	チャーチモード	*2	
授	8	小テスト		26	ドミナントスケー	-ル	
業計	9	コード①:コードネームの法則~3和音		27	小テスト		
画 表	10	コード②:4和音		28	楽曲分析①		
	11	コード③:分数コード~小テスト		29	楽曲分析②		
	12	メジャーキーのダイアトニックコード		30	ハモリの付け方	î	
	13	コードのファンクション~ドミナント7thコ	ード	31	小テスト		
	14	3種類のマイナースケールとマイナーキ	_	32	後期期末テスト		
	15	マイナーキーのダイアトニックコード~サナー	ナブドミナントマイ	33	後期テスト解説	一総括	
	16	ツーファイブとドミナントモーション~セ; ト	カンダリードミナン	34	確認テスト・まと	:b1	
	17	小テスト		35	確認テスト・まと	:b2	
	18	前期期末テスト		36	確認テスト・まと	:b3	
		テスト	50%	兴	羽口上汁	成績表送付	
成績害	訓合	学習態度•出席率	40%	子	習FB方法		
<i>州</i> 入/(貝百	13 🗖	レポート	10%	F	<b></b>		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点
		合計	100%	)1		以下は不合格	200 00W D00W
P/R/A/0	G割合	P《課題解決型学習≫40% R≪実債	動実践型学習≫30	% A	A≪主体的参加	型学習≫20% G≪海绿	外体感型学習≫10%
講師フィー		木下龍平 アーティストのライブサポートやレコ SUPA LOVE所属作家。	ーディングに参加	叩する	等、ベーシスト	として活動した後、作言	司・作曲・編曲家に転向。

				シラ	バ	ス		
科目	科目名 アンサンブルセオリー I 担当者名 木下龍平、山田泰士、山田達也、		七、山田 達也、吉池 千秋					
学 承	+	ミュージック科 サウン コース	ンドデザイナー	ł	受業ス	<b>方法</b>	実習	
認定単		4単位	開講期	V 255			授業時間数	144時間
開講学	产年	1学年	必・選	必選				
授業目	目的	譜面を正しく理解	し、演奏できるよ	こうにする。				
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	記譜法(音符、休得サンブルの中で自	符、演奏記号等  分のパートが果	の譜面の	読み 役割	方・書き方に  を考えなが	ニ関するルール)を ら演奏する感覚を	習得する。また、アン 養う。
授業棚	既要	譜面を見ながら演 形式で行う。	奏させた後、演	奏技術や	バン	ドアンサンフ	「ルの考え方に関す	けるアドバイスを実技
		授	受業内容				授業内容	3
	1	オリエンテーション1			19	音作り研究		
	2	オリエンテーション2			20	バラード8ビー1	、:①初見演奏・楽曲解説	ž.
	3	オリエンテーション3			21	バラード8ビー	·:②指導	
	4	譜面のルール:進行やリ	ピート記号について		22	バラード8ビー	·:③発表•講評	
	5	音符の種類と拍子			23	ソウル・ファンク	1:①初見演奏・楽曲解詞	
	6	シンコペーション			24	ソウル・ファンク	1:②指導	
	7	ポップス8ビート:①初見	演奏·楽曲解説		25	ソウル・ファンク	1:③発表•講評	
授	8	ポップス8ビート:②指導			26	ポリリズム、変拍	9子	
業計	9	ポップス8ビート: ③発表	•講評		27	ジャズ・フューシ	ジョン1:①楽曲解説	
画表	10	ロック1:①初見演奏・楽	曲解説		28	ジャズ・フューシ	<sup>ジョン</sup> 1:②指導	
	11	ロック1:②指導			29	ジャズ・フューシ	<sup>ジョン1</sup> :③発表・講評	
	12	ロック1:③発表・講評			30	バラード16ビー	ト1:①初見演奏・楽曲解	<b></b> 詳説
	13	シャッフルビート			31	バラード16ビー	<b>├</b> 1:②指導	
	14	即興演奏1			32	バラード16ビー	ト1:③発表·講評	
	15	ブルース:①初見演奏・	楽曲解説		33	後期期末実技	試験~総括	
	16	ブルース:②指導			34	確認テスト・まと	· め1	
	17	ブルース:③発表・講評			35	確認テスト・まと	· め2	
	18	前期期末実技試験			36	確認テスト・まと	· め3	
		テスト		50%	兴	双口士:	成績表送付	
成績害		学習態度・出席率		50%	子	習FB方法		
水水頂音	n 🗆	レポート		0%	E	<b>戈績評価</b>		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点
		合計		100%	,,	人//貝叶/  川	以下は不合格	
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習≫4	10% R≪実働実践	型学習≫30	% A	A《主体的参加	型学習≫20% G≪海织	外体感型学習≫10%
講師コフィー		アーティストのライブサ SUPA LOVE所属作家		 ィングに参加	叩する	<u></u> 等、ベーシスト	ーーーーとして活動した後、作記	司・作曲・編曲家に転向。

	シラバス							
科目名	名	DTMベーシック	Ι	担	当	者名	山田 泰士	
学 科	ł	ミュージック科 サ コース	ウンドデザイナー	ł	受業ス	方法	実習	
認定單開講学	·	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	72時間
授業目	目的	DTMの基本操作	乍とテクニックを学	<i>ప్</i> 。				
授業 E (ラーニ アウトカム	ング	制作の上でDTM	Mの使い方や音楽	理論を習	· 得し	、同時に音楽	楽的感性も向上する	<b>3</b> .
授業棚	既要	DTMを使った楽 実践。	曲、効果音の制作	乍とそれに	ニ伴う	音楽理論や	楽器知識、レコーデ	ディング知識の学習と
			授業内容				授業内容	:
	1	オリエンテーション			19	楽器知識		
	2	オリエンテーション			20	自主楽曲制作	1)	
	3	オリエンテーション			21	自主楽曲制作	2	
	4	Studio Oneのインスト	ールと基本的な使い方		22	自主楽曲制作	3	
	5	ベーシックな打ち込み	ょ(ドラム)		23	自主楽曲制作	4	
	6	ベーシックな打ち込み	ょ(ベース)		24	ミックス作業とフ	プラグイン	
	7	ベーシックな打ち込み	ょ(ギター)		25	レコーディング	機材と実習	
授	8	ベーシックな打ち込み	ょ(ピアノ)		26	効果音の作成の	D	
業計	9	ベーシックな打ち込み	*(メロディ)		27	効果音の作成の	2	
画表	10	さまざまな楽器の打ち	 込み		28	I.完全自主制作	<b>E</b> (1)	
	11	打ち込みでの楽曲カ	バー(l)		29	I.完全自主制作	=2	
	12	打ち込みでの楽曲カ	バー②		30	II.完全自主制化	<b>/</b> F(1)	
	13	音楽理論・楽典①			31	II.完全自主制作	<b>F</b> 2	
	14	音楽理論・楽典②			32	楽曲発表とプレ	ゼン①	
	15	音楽理論・楽典③			33	楽曲発表とプレ	ゼン②	
	16	音楽理論・楽典④			34	まとめ1		
	17	音楽理論・楽典⑤			35	まとめ2		
	18	Cubaseの使い方と特	<u></u>		36	まとめ3		
		テスト		50%	学	習FB方法	成績表送付	
成績害		学習態度・出席	率	50%	4	日刊力伝	/从順攻心門	
沙人小貝音	1 🗆	レポート			F.	<b></b>		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点
		合計		100%			以下は不合格	
P/R/A/C 講師フ フィー	プロ	14歳からギターを始 理論などを学びつっ 現在は、レコーディ	が、その後専門学校 つ、様々な場所で演奏	に入学し シ をやアシスタ セッション、	ジャズ、 マントの	ブルース、ララ	っ同学校を卒業。	》 音楽の知識や技術、音楽 ーとして楽曲提供など、メ

				シラ	ノヾ	ス			
科目	名	ミュージックセオリー I		担	当	者名	木下 龍平		
学科	+	ミュージック科 サウンドデ コース	ザイナー	1	受業プ	方法	講義		
認定単			講期				授業時間数	72時間	
開講学	学年	1学年 必	•選	必選					
授業目	目的	音楽制作・楽器演奏に	必要な音楽	楽理論を	習得で	ける。			
授業目 (ラーニ アウトカ	ング	世界で広く学ばれているを与えているかを知るこ						ト曲にどのような影響	
授業棚	既要	クラシック・ジャズの理論 ている例も解説する。	命の講義を	、楽器等	で音る	を確認しなか	ぶら行う。併せて、実	<b>『際に楽曲で使用され</b>	
		授業内	容				授業内容	<u> </u>	
	1	オリエンテーション1			19	前期テスト解説			
	2	オリエンテーション2			20	メジャーペンタ	トニックスケールとマイナ・	ーペンタトニックスケール	
	3	オリエンテーション3			21	ブルースとブル	ースペンタトニックスケー	- ル	
	4	ポピュラー音楽で使われる音楽 階名	理論について	て~音名と	22	テンションノート	とテンションコード		
	5	音階と中心音~メジャースケー	ル		23	アヴェイラブル	ノートスケールという考え	方	
	6	調と調性			24	チャーチモート	1		
	7	音程と度数			25	チャーチモート	2		
授	8	小テスト			26	ドミナントスケー	ンル		
業計画	9	コード①:コードネームの法則~	~3和音		27	小テスト			
画 表	10	コード②:4和音			28	楽曲分析①			
	11	コード③:分数コード~小テスト			29	楽曲分析②			
	12	メジャーキーのダイアトニックコ・	ード		30	ハモリの付け力	<del>·</del>		
	13	コードのファンクション~ドミナン	√ト7th⊐ード		31	小テスト			
	14	3種類のマイナースケールとマイ			32	後期期末テスト			
	15	マイナーキーのダイアトニックコナー			33	後期テスト解説	~総括		
	16	ツーファイブとドミナントモーショ ト	iン〜セカンダ 	「リードミナン	34	確認テスト・まと	め1		
	17	小テスト			35	確認テスト・まと	か2		
	18	前期期末テスト		_	36	確認テスト・まと	න3		
		テスト		50%	学	習FB方法	成績表送付		
成績害	削合	学習態度•出席率		40%					
		レポート		10%	万	<b></b>		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点	
		合計		100%			以下は不合格	=//	
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習≫ R≪等	実働実践型学	P習≫ A≪	主体的	]参加型学習≫	G《海外体感型学習》	>	
講師コフィー		木下龍平 アーティストのライブサポート SUPA LOVE所属作家。	やレコーデ	ィングに参加	叩する	等、ベーシスト	として活動した後、作言	司・作曲・編曲家に転向。	

				シラ	ノヾ	ス		
科目	1名       アンサンブルセオリー I       担当者名       木下龍		木下 龍平、山田 泰二	士、山田 達也、吉池 千秋				
学 承	+	ミュージック科大学	学コース	ž	受業に	方法	実習	
認定單		4単位 1学年	開講期 必・選	必選			授業時間数	144時間
授業目			解し、演奏できるよ		)			
授業 F (ラーニ アウトカ.	ング	記譜法(音符、位 サンブルの中で	木符、演奏記号等 自分のパートが果	の譜面の Pたすべき	読みでき	方・書き方に  を考えなが	ご関するルール)を ら演奏する感覚を	習得する。また、アン 養う。
授業棚	既要	譜面を見ながら 形式で行う。	演奏させた後、演	奏技術や	バン	ドアンサンフ	「ルの考え方に関す	けるアドバイスを実技
			授業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション1			19	音作り研究		
	2	オリエンテーション2			20	バラード8ビー1	、:①初見演奏・楽曲解説	į
	3	オリエンテーション3			21	バラード8ビー	·:②指導	
	4	譜面のルール:進行な	やリピート記号について		22	バラード8ビー	·:③発表·講評	
	5	音符の種類と拍子			23	ソウル・ファンク	1:①初見演奏・楽曲解詞	 兑
	6	シンコペーション			24	ソウル・ファンク	1:②指導	
	7	ポップス8ビート: ①初	」見演奏・楽曲解説		25	ソウル・ファンク	1:③発表•講評	
授	8	ポップス8ビート:②指	導		26	ポリリズム、変拍	9子	
業計	9	ポップス8ビート: ③発	表•講評		27	ジャズ・フューシ	ジョン1:①楽曲解説	
画表	10	ロック1:①初見演奏・	楽曲解説		28	ジャズ・フューシ	ジョン1:②指導	
	11	ロック1:②指導			29	ジャズ・フューシ	<sup>ジョン1</sup> :③発表・講評	
	12	ロック1:③発表・講評			30	バラード16ビー	ト1:①初見演奏・楽曲解	<b></b> 群説
	13	シャッフルビート			31	バラード16ビー	·卜1:②指導	
	14	即興演奏1			32	バラード16ビー	ト1:③発表·講評	
	15	ブルース:①初見演奏	₹•楽曲解説		33	後期期末実技	試験~総括	
	16	ブルース:②指導			34	確認テスト・まと	め1	
	17	ブルース: ③発表・講	評		35	確認テスト・まと	:b)2	
	18	前期期末実技試験			36	確認テスト・まと	<b>め</b> 3	
		テスト		50%	兴	ZZ CD- <del>L</del> ∵+	<b> </b>	
成績害		学習態度・出席	率	50%	子	習FB方法	成績表送付	
八八八月百	ип	レポート		0%	E	戈績評価		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点
		合計		100%	)-		以下は不合格	COO 00点 D00点
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習	≫40% R≪実働実践	型学習≫30	% A	1≪主体的参加	型学習≫20% G≪海织	外体感型学習≫10%
講師フィー		アーティストのライフ SUPA LOVE所属作		ィングに参加 	叩する	等、ベーシスト	として活動した後、作言	司・作曲・編曲家に転向。

	シラバス								
科目名	名	DTMベーシック	I	担	. 当 =	者名	山田 泰士		
学 科	ł	ミュージック科大学	学コース	ž	受業ス	方法	実習		
認定單開講学	·	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	72時間	
授業目	目的	DTMの基本操作	乍とテクニックを学	<i>\$</i> .					
授業 E (ラーニ アウトカ	ング	制作の上でDTM	Mの使い方や音楽	(理論を習	得し	、同時に音楽	終的感性も向上する	3.	
授業概	既要	DTMを使った楽 実践。	曲、効果音の制化	乍とそれに	こ伴う	音楽理論や	楽器知識、レコーラ	ディング知識の学習と	
			授業内容			授業内容			
	1	オリエンテーション			19	楽器知識			
	2	オリエンテーション			20	自主楽曲制作	D		
	3	オリエンテーション			21	自主楽曲制作(	2		
	4	Studio Oneのインスト	ールと基本的な使い方		22	自主楽曲制作(	3		
	5	ベーシックな打ち込み	ょ(ドラム)		23	自主楽曲制作(	4		
	6	ベーシックな打ち込み							
	7	ベーシックな打ち込み	ょ(ギター)		25	レコーディング	幾材と実習		
授	8	ベーシックな打ち込み	ょ(ピアノ)		26	効果音の作成の	1)		
業 計	9	ベーシックな打ち込み	ょ(メロディ)		27	効果音の作成の	2		
画表	10	さまざまな楽器の打ち	 )込み		28	I.完全自主制作	<b>(1)</b>		
	11	打ち込みでの楽曲カ	バー①		29	I.完全自主制作	=2		
	12	打ち込みでの楽曲カ	バー②		30	II.完全自主制作	<b>F</b> (1)		
	13	音楽理論・楽典①			31	II.完全自主制作	<b>F</b> 2		
	14	音楽理論・楽典②			32	楽曲発表とプレ	ゼン①		
	15	音楽理論・楽典③			33	楽曲発表とプレ	ゼン②		
	16	音楽理論·楽典④			34	まとめ1			
	17	音楽理論・楽典⑤			35	まとめ2			
	18	Cubaseの使い方と特	<b></b>		36	まとめ3			
		テスト		50%	عدد	AN HOUSE	- 上体 ≠ ∵ ↓ ↓		
<b>北</b> 建生		学習態度・出席	率	50%	字	習FB方法	成績表送付		
成績害	1 D	レポート			万	<b></b>		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点	
		合計		100%			以下は不合格		
P/R/A/C 講師フ フィー	プロ	14歳からギターを始 理論などを学びつ 現在は、レコーディ	おめ、その後専門学校 つ、様々な場所で演奏	でに入学し シ 奏やアシスタ 、セッション、	ジャズ、 マントの	ブルース、ララ経験をしながら	る同学校を卒業。	外体感型学習≫10% 音楽の知識や技術、音楽 ーとして楽曲提供など、メ	

	シラバス							
科目	名	ミュージックセオリ	— I	担	当	者名	木下龍平	
学 彩	4	ミュージック科大学	コース	ŧ	受業ス	方法	講義	
認定單		4単位 1学年	開講期 必・選	必選			授業時間数	72時間
					171 / 171	1 ~		
授業目	目的	音楽制作•楽器演	奏に必要な音楽	楽埋論を管	当得?	<b>たる。</b>		
授業 E (ラーニ アウトカ.	ング	世界で広く学ばれを与えているかを気						・曲にどのような影響
授業概	既要	クラシック・ジャズ <i>0</i> ている例も解説す		、楽器等	で音る	を確認しなか	ぶら行う。併せて、実	<b>足際に楽曲で使用され</b>
		授	受業内容				授業内容	7
	1	オリエンテーション1			19	前期テスト解説		
	2	オリエンテーション2			20	メジャーペンタ	トニックスケールとマイナ・	ーペンタトニックスケール
	3	オリエンテーション3			21	ブルースとブル	ースペンタトニックスケー	-ル
	4	ポピュラー音楽で使われ 階名	る音楽理論について	て~音名と	22	テンションノート	とテンションコード	
	5	音階と中心音~メジャー	スケール		23	アヴェイラブル	ノートスケールという考え	方
	6	調と調性						
	7	音程と度数			25	チャーチモード	·2	
授	8	小テスト			26	ドミナントスケー	-ル	
業計	9	コード①:コードネームの	法則~3和音		27	小テスト		
画 表	10	コード②:4和音			28	楽曲分析①		
	11	コード③:分数コード~/	トテスト		29	楽曲分析②		
	12	メジャーキーのダイアトニ	ニックコード		30	ハモリの付け力	î	
	13	コードのファンクション~	ドミナント7thコード		31	小テスト		
	14	3種類のマイナースケー	ルとマイナーキー		32	後期期末テスト	,	
	15	マイナーキーのダイアトンナー	ニックコード~サブド	ミナントマイ	33	後期テスト解説	一総括	
	16	ツーファイブとドミナント <del>-</del> ト	モーション~セカンタ	<sup>(</sup> リードミナン	34	確認テスト・まと	:b1	
	17	小テスト			35	確認テスト・まと	:b2	
	18	前期期末テスト			36	確認テスト・まと	:b3	
		テスト		50%	当	習FB方法	成績表送付	
成績害	訓合	学習態度·出席率		40%	子	日口刀伝	/水順 X 达刊	
/4人//具首	13 []	レポート		10%	F	<b></b>		S90~100点 A80~ C60~69点 D59点
		合計		100%	,,	AUSCH I IIII	以下は不合格	200 30M D00M
P/R/A/O	G割合	P≪課題解決型学習≫4	0% R≪実働実践	k型学習≫30	% A	A≪主体的参加	型学習≫20% G≪海ź	外体感型学習≫10%
講師コフィー		アーティストのライブサ SUPA LOVE所属作家		ィングに参加	叩する	等、ベーシスト	として活動した後、作言	司・作曲・編曲家に転向。